

ウイズ・ユー



シンボルマーク

あなたとともに



上里町女性センター(ウイズ・ユー上里)

平成11年7月、開設
学習・情報・交流・支援機能を備えた
男女共同参画社会への拠点施設です

どうぞ、ご利用ください!

ウイズ・ユー

とは

県立の「ウイズ・ユーさいたま」とパートナーシップを持つ意味であり「あなたとともに」という意味です。

特集

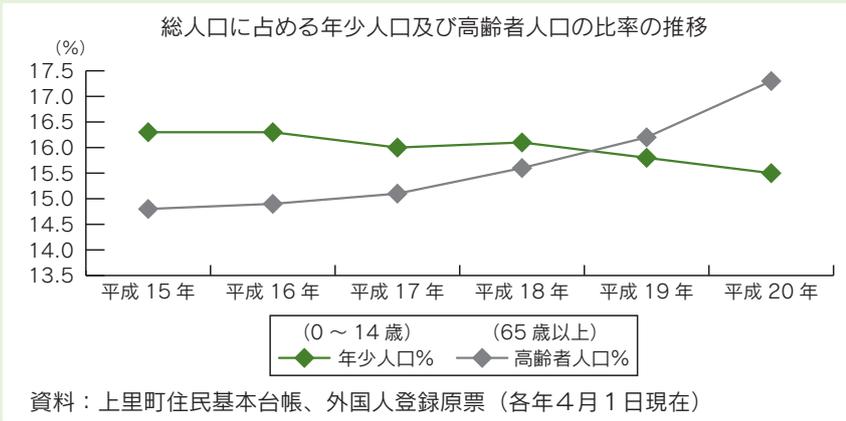
- 地域で支えあう…高齢化社会
「すすむ高齢化、上里町の現状」 …………… 2
- みんなで楽しく《トキの会》
- 『脳力向上大学』(脳健康教室) スタート! …………… 3
- かみさと男女共同参画推進プラン
- リレー随想 …………… 4
- 支援グループ活動報告 …………… 5
- 上里町の輝く女性たち
- 相談窓口のご案内 …………… 6

地域で支えあひ…高齢化社会

急速に少子高齢化社会がすすむ今日、上里町の高齢者の比率や高齢者単身世帯の現状を調べてみました。

特集 すすむ高齢化、上里町の現状

本町の年少人口と高齢者人口の総人口に占める比率の推移を見ると、近年5年間に於いて年少人口の比率が高齢者人口の比率を上回っています。平成19年度からは逆転

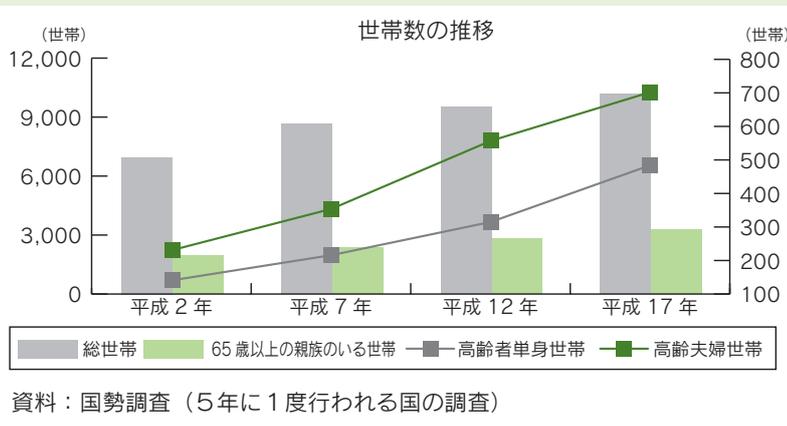


し高齢者人口の比率が年少人口の比率より上回りました。年々、少子高齢化が確実に進んでいることを示しています。

総人口の増加に伴い総世帯数も増加しています。平成12年から平成17年の総世帯数の増加率は7%ですが、65歳以上の親族のいる世帯は約16%の増加、高齢者単身世帯及び高齢者夫婦世帯は約26%の増加と、総世帯数の増加率に比べ高齢者のいる世帯数の増加率が高くなっています。

すすむ高齢化、ふえる一人暮らし、高齢者をターゲットとした犯罪、多発する高齢者の交通事故など不安定な社会情勢のなか、上里町では、介護保険法に基づき65歳以上で介護認定を受けていない方を対象に「生活機能(基本)チェックリスト」を送付しています。寝たきりなどの原因となる心や身体の生活機能の

低下を早期に把握し、介護や支援が必要となる状態を予防するための健診を行い、さらに認知症予防に脳力向上大学(脳の健康教室)も開き、健康を維持しながら生涯いきいきと暮らせる社会を目指しています。



また、ボランティア団体「トキの会」では、月2回機能訓練を、社会福祉協議会では、調理ボランティアさんによる「ハッピーランチサービス」(65歳以上のひとり暮らしの高齢者に月1回行っている配食サービス)など、さまざまなボランティア団体が活動しています。高齢者が安心して暮らせるよう、これからも地域ぐるみで高齢化の時代を支えていくことが大切です。

※「ハッピーランチサービス」は希望者のみ。(有料)地区の民生委員が届けている。



みんなで楽しく 《トキの会》



みんなで楽しく卓球する
「トキの会のみなさん」



生形さん
ご夫婦

参加することをとても楽しみにして、時間をとって参加するほどです。この会は、上里町※サラ七本の活動の一つとして、平成10年より上里町保健センター主催の社会参加型機能訓練のお手伝いから始まり、県北部地区障害者スポーツ大会の付添い応援にも協力。平成14年、この活動の名称を「トキの会」とし、現在は会長、今村朝子さん、副会長、畑中幸枝さんのもと、看護師

上里町女性センターへやさしく奥様の手を引いてやってくる生形さんご夫婦。奥様は「トキの会」に

※サラ七本木…

Saitama Ladies Associationの略

埼玉県地域婦人会連合会

本庄市児玉郡連合婦人会

サラ賀美

サラ神保原

サラ七本木

トキの会



「さあ、血圧を測りましょうね！」

1名、ホームヘルパー1級1名、ケアマネージャー1名、ホームヘルパー3級7名、計12名で活動しています。毎回血圧を測り記録して健康管理を行いながら、会話を楽しみ、身体を動かす軽いスポーツや歌を唄う等、楽しく機能訓練(月2回)を行っています。



♪音楽に合わせて
身体を動かしましょう！

『脳力向上大学 (脳の健康教室)』 スタート

東北大学の川島隆太教授の研究成果を応用した教室です。読み書きや簡単な計算で脳の健康維持(認知症予防)を目的とします。また、教室を通して人と人との交流により地域での仲間づくりの場にもなります。学習期間は7月～12月までの6ヶ月間、毎週木曜日の午前中の1時間程度となっています。この事業は上里町地域包括支援センター職員と公募によって一定の講習を受けた方が、学習サポーターとしてボランティア活動を行っています。その活動状況を取材しました。受講生は20名程で、ほとんどが70～80歳代です。指導する方も、受講生も楽しそ



能力向上大学の学習風景

うに熱心に取組んでいました。川島先生の著書に「最新の医学の考え方によると、脳を使わないことによつて脳機能が低下していき、それが認知症の入口になるといわれています」と書かれています。また、上里町健康保険課と上里町女性団体連絡協議会との共催により『認知症サポーター養成講座～認知症を学び地域で支えよう』が9月17日に開催され地域で支えあうことの大切さを学びました。医学の進歩により、日本は世界一の長寿国になり素晴らしいことです。心身ともに健全で、楽しい人生を送るために「脳」を鍛えましょう。



平成21年9月17日(木)
189名が参加した「認知症サポーター養成講座」
会場の様子

かみさと男女共同参画推進プラン

認め合い ともに創り
支えあうまち かみさと

上里町男女共同参画推進審議会では、2009年度から2013年度までの5年間を計画期間とする「かみさと男女共同参画推進プラン」を審議中です。このプランは性別にかかわらず、すべての人の考え方や意思が尊重され、ともに支えあい、一人ひとりが個性を發揮して多様な生き方を選択できる社会の実現をめざしています。詳しくは上里町女性センターまでお問合せください。

I 男女共同参画実現に向けた意識づくり

II あらゆる分野での男女共同参画をすすめる環境づくり

III 誰もが健やかで安心して暮らせる男女共同参画のまちづくり

IV 計画の推進



No.18 号から引き続き、上里町女性センター（ウィズ・ユー上里）開設以来、男女共同参画社会の実現に向けて日々ご活躍されています。団体の代表者の方々に、お話を伺いました。



上里町女性団体連絡協議会

部落解放愛する会
埼玉県連合会
上里支部女性部

会長 安藤 ちか

愛する会は、児玉郡で女性部があるのは上里町だけです。最近、みなさん、お年を召してきましたので、とても悩みます。

各方面でこれという事業はできませんが料理教室や、昔をしのいで見聞を広めたり、行政との研修会や男女で人権問題「同和教育」に対して取組んでおります。基本的人権の侵害に係わる重要問題に対しては前向きに進んでいます。そのバイタリティは凄いです。それを生かし共同参画に少しでも近づける様、私達の自立、自覚を見失わない様頑張っていきたいと思ひます。人を頼りにしないで、自分から動かないと何も始まりません。小間使いに徹すれば、自然に頼られ、相手の気持ちを思いやれ、また優しい人に、地域社会では大切だと思ひます。ウィズ・ユーでの講演会は年を召してる人でも、ひとつでも覚えるからと楽しみにしている方が多くなり、前向きで私達は、運転出来る人は指折り…しかありませんが頑張っていきたいと思ひます。



上里町女性団体連絡協議会

商工会女性部

前会長 栗原 三津子

商工会女性部の大きな事業のひとつとして、「鳴子踊り」があります。この踊りは、各地区の部長会議で知りました。上里町女性部も何か新しい事をと考えていたものですから、すぐに取り入れ美里の商工会女性部の皆さんにご指導いただき、平成16年4月に「かみさと鳴子会」を発足しました。今では各地区のイベントや福祉施設に招かれ活動できるようになり、昨年は町の子育て支援の一環として各児童館に出向き、親睦を深めながら指導練習を重ねました。町民体育祭では、児童と一緒に総勢130名で踊った喜びは、今でも胸が熱くなります。又鳴子踊りを通して他地区の商工会女性部とも親睦を深められました。その他にも歌声喫茶、音楽コンサート、講演会、AEDの講習会等、事業は手探りの中から始めるものですので、手配や準備達成するまでは部員の皆さんの協力が一番大切でした。お陰さまで歌声喫茶は2回も出来、達成した時は部員の皆さんと又違った喜びでした。大勢の人達との出会いやふれあいがあり、商工会女性部員の何事にも熱心で積極的な人柄、強い結束、協力心に恵まれ、有意義な楽しい七年間が過ごせましたことに大変感謝しています。これからは一部員として、今までのことに感謝を込めて、活動の仲間であられますよう身体に気を付け、いつまでも健康で過ごし努力していきたいと思います。

リ
レ
ー
随
想
男女共同参画社会の実現を目指して！



●●● 支援グループ活動報告 ●●●

*平成21年8月1日現在支援グループ27名(男性21名、女性6名)

支援グループとは..

男女共同参画の実現をめざす、上里町女性センター（ウイズ・ユア上里）の事業を支援し、同時にその活動を通して相互援助の輪を広げ、一人ひとりの自己実現がしやすいように支え合っていくグループです。



定例会後、丸山清之さんの指導により
ステンドグラスで
キャンドルスタンドづくり!



すてきなキャンドル
スタンドができました。



丸山清之さんの作品



今年も、廃油で、
エコせっけんづくり
しました。



平成21年5月24日(日)

花いっぱい活動風景

定例会後除草や季節の花植え
などを行っています。



支援グループ主催の『知っ得講座』



平成21年5月21日(木)
新緑ハイキング
「御陣場川の源流を訪ねて
パート2」



平成21年9月24日(木)
男性応援講座・料理教室
「おいしい・かんたん・日常料理」

***毎月…第1・第3木曜日、上里町女性センターで活動しています!**
興味のある方、ちょっと、出かけてみませんか?

女性センター事業を支える2団体の交流管外研修実施

去る7月2日、女性センター事業支援活動推進委員会（支援グループ）と上里町女性会議との交流研修会を行いました。この団体は、男女共同参画社会実現に向けた共通の理念のもとに、女性センターを拠点とし、各種活動を展開しているボランティア団体です。

このたび、両団体との交流を図り一層の事業進展に寄与するため、初の管外交流研修を試みました。参加者は両団体の在籍約2/3に当たる42名で、行き先は、初回のこともあり、近郷の国営武蔵丘陵森林公園観察と地球観測センターを見学しました。今や地球を取り巻く環境は、年々悪化の一途をたどり、温暖化による生態系や気象異常は人間生活にも影響が現れていると言われていいます。この武蔵野の自然の美しさに触れ、あらためて地球の保全の大切さと、実現のための協調と努力の大切さを感じて帰りました。

これからも、明るく住みよい地域づくりを目指しましょう。
男女共同参画アドバイザー 小暮 廣明



国営武蔵丘陵森林公園内を散策する、
支援グループと上里町女性会議の皆さん

上里町の輝く女性たち



赤十字奉仕団埼玉県支部委員会委員長になられた齋木はなさん

上里町赤十字奉仕団委員長、齋木はなさんがこのたび、赤十字奉仕団埼玉県支部委員会委員長に就任されました。齋木さんは、親の代から赤十字奉仕団に入り、赤十字運動の担い手として幅広く活躍されています。赤十字は、人道と博愛の精神を基調とした国際的な奉仕団体で、自然災害への救援、途上国への開発協力、国内外での医療活動、血液事業、社会福祉事業など多岐にわたる支援活動を行っています。

※赤十字奉仕団：埼玉県支部では58団体
上里町団員数176名



取材中の齋木さん

町にあつては福祉活動として体育祭、老人ホーム慰問、交流センター清掃、駅前の花壇手入れ等の幅広い活動を行っています。「このような活動も家族の理解と協力なしではできません。これからも健康を維持しながら、皆さんと一緒に仲良く『住み良い町づくり』のため活動を続けたい」と力強く語って下さいました。団員のほとんどが女性とのことですが、男女共同参画社会実現にむけても、男性団員の入会を切望しておりますとのこと。
ご活躍ご祈念致します。
記：編集委員長 田村拓三

講座のお知らせ

女性のチャレンジ&リフレッシュ応援講座 (全4回)
お問合せ先：上里町女性センター (ウイズ・ユー・上里) ☎0495-35-1357

10/13 火 定員20名 (無料)
AM10:00 ~ 11:30
からだに やさしい「ストレッチ」
~心も体もリフレッシュ~
講師 入美由紀氏
10/2より申込み開始

11/27 金 定員20名 (材料費1,500円)
PM 7:00 ~ 9:00
女性のための心の栄養補給講座~ハーブでつくる花束オーナメント(ドライ)づくり~
講師 萩原 泉氏
11/4より申込み開始

平成22年 **1/22 金** 定員20名 (無料)
AM10:30 ~ 12:30
埼玉県女性キャリアセンター出前講座
女性の再就職キャリアアップセミナー
正社員、派遣、パートなどの働き方の特徴を知りましょう
講師 梶原 泉氏
1/4より申込み開始

平成22年 **2/28 日** 定員100名 (無料)
PM 1:00 ~ 3:00
女性のチャレンジ&リフレッシュ応援講座 第1部
吉野由香さんによるフルートのミニコンサート
第2部
元NHKアナウンサー室町澄子氏講演会
2/8より申込み開始

*各講座とも、定員になり次第締切とさせていただきます。
*会場は、上里町女性センター (ウイズ・ユー・上里) セミナーホールです。

相談事業のご案内

相談窓口	相談内容	問合せ先電話番号
上里町女性のための総合相談 (要予約)	【女性相談員による悩み事相談】 毎月第1~第4水曜日 13:00~16:00 【女性弁護士による法律相談】 平成21年度・計4回 (4/15・7/15終了) 11/18・2/17 10:00~12:00	上里町女性センター (ウイズ・ユー・上里) ☎0495-35-1357
埼玉県配偶者暴力相談支援センター	月~土 10:00~20:30 日・祝 9:30~17:00 (12/29~1/3は除く)	埼玉県配偶者暴力相談支援センター ☎048-863-6060
With You さいたま相談室	月~土 10:00~20:30 年末年始、祝日、第3木曜日を除く	埼玉県男女共同参画推進センター ☎048-600-3800
法律相談 (要予約)	毎月第1・第3・第4水曜日 13:00~16:00	埼玉県北部地域振興センター (熊谷市) ☎048-522-6506

●相談無料

●秘密厳守

編集後記

去る8月3日、初の裁判員裁判が始まった。選ばれた6人の裁判員のなかで5人が女性である。経過はともかく女性の進出は素晴らしい。1945年(昭20)婦人参政権が制定され、以来64年経過。その間1999年(平11)には男女共同参画社会基本法の制定を見、女性の地位向上と社会進出は確かなものになってきた。
一方少子化現象は高齢化が進む中で大きな社会問題となり、将来への不安を招いている。かかる問題の対策にも男女間格差をなくし、女性の働く環境や保育・教育の整備により、子育てのしやすい整備が急務である。



編集部